

研修概要

教育内容

研修は、全ての特定行為区分に共通するものの向上を図るための「共通科目」と、特定行為区分ごとに異なるものの向上を図るための「区分別科目」に分かれています。各科目は講義、演習または実習によって行います。共通科目を全科目修得した後、区分別科目を履修します。

本学における研修は、「共通科目」の講義はe-learningでの個別履修、演習はWeb会議システムを利用した遠隔研修または集合研修、実習は集合研修となり、「区分別科目」はe-learningでの個別履修と独自のカリキュラムによる集合研修と臨床での実習を中心とします。

○共通科目

科目名称	時間数
臨床病態生理学	30時間
臨床推論	45時間
フィジカルアセスメント	45時間
臨床薬理学	45時間
疾病・臨床病態概論	40時間
医療安全学・特定行為実践	45時間
合計	250時間

○区分別科目

コース名	特定行為区分名称	時間数 (講義・演習)	時間 計	実習 症例数
急性期コース	呼吸器（気道確保に係るもの）関連	9時間	172 時間	全ての 特定行 為ごと に5～ 10症 例
	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	29時間		
	循環器関連	20時間		
	栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カ テーテル管理）関連	7時間		
	動脈血液ガス分析関連	13時間		
	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	16時間		
	血糖コントロールに係る薬剤投与関連	16時間		
	術後疼痛管理関連	8時間		
	循環動態に係る薬剤投与関連	28時間		
	精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	26時間		

コース名	特定行為区分名称	時間数 (講義・演習)	時間 計	実習 症例数
慢性期・在宅 コース	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	8時間	96 時間	全ての 特定行 為ごと に5～ 10症 例
	ろう孔管理関連	22時間		
	創傷管理関連	34時間		
	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	16時間		
	血糖コントロールに係る薬剤投与関連	16時間		

※「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」を必須とし、他の区分は希望する区分のみの受講が可能です。
(複数区分の受講可)

コース名	特定行為区分名称	時間数 (講義・演習)	時間 計	実習 症例数
選択区分	栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型 中心静脈注射用カテーテル管理)関連	8時間		5～10 症例

研修修了要件

共通科目における評価（筆記試験・各種実習の観察評価）に加え、区分別科目における評価（筆記試験・実技試験・各種実習の観察評価）に合格し、当法人の特定行為研修管理委員会における最終の修了判定を経て理事長が修了を認定します。なお、修了者には修了証を授与します。

研修受講料（令和6年度）

①急性期コース：850,000円

②慢性期・在宅 コース

i)すべての区分を受講：650,000円

ii)希望する区分を受講

- ・基本料(共通科目+栄養及び水分に係る薬剤投与関連)：430,000円
- ・呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連：50,000円
- ・ろう孔管理関連：100,000円
- ・創傷管理関連：100,000円
- ・血糖コントロールに係る薬剤投与関連：50,000円

③選択区分：100,000円